

普及活動情勢報告（令和5年6月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ニラの適正かん水量はどれくらい？ ～ニラ部会栽培講習会～



部会員に講義する
普及指導員

6月9日と12日、JA高知県香美地区園芸部ニラ部会が栽培講習会を開催し、生産者30名が参加しました。

農業改良普及課は、ニラのかん水管理について『生育・吸水量と日射量の関係』と『施設ニラの日射比例制御かん水技術』をテーマに農業技術センターの研究結果を基に講習しました。

生産者からは、冬場・春先のかん水管理や日射比例制御かん水技術活用時の注意点などについて質問が出され、作期（季節）別、生育状況、ほ場の特性に応じたかん水管理の重要性を周知しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの生産安定に向けて支援します。

地域農業の将来像を描く ～地域計画の作成に向けて～



まずは地図の情報整理から

5月26日と6月2日、南国市や農業委員会など関係機関と地域計画の作成について協議しました。

地域計画の地区割りや作業工程等を参加者で確認し、人・農地プランでは24地区だった区域を大字単位（13地区）に集約することになりました。また、長岡地区から検討を始めることで合意しました。

参加者からは「高齢者や耕作者不明の農地を調査する必要がある」「認定農業者に空き農地を集約できるかアンケートなどで意向確認を行ってはどうか」などの意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、現況地図の作成、地域での話し合いなど、地域計画の作成に向けた取組を支援します。

次作に向けて情報交換しよう！ ～フルーツトマト部会役員会～



次作に向けた栽培講習会の
内容について検討中

5月26日、JA高知県香美地区フルーツトマト部会役員会が行われ、役員4名が出席しました。

農業改良普及課は、最近発生したトマトの生理障害や低濃度エタノール土壌還元処理、SAWACHIの活用などについて説明しました。

この時期の生理障害はハウス内気温の変化などによって発生しやすいことや、低濃度エタノール土壌還元処理により青枯病以外でも病害防除が可能であるかなどを役員と共有できました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力してフルーツトマトの生産安定に向けて支援していきます。

農福連携で労働力確保 ～シシトウパック詰め体験会の開催～



シシトウを選別する体験者

6月2日、7日、13日に香美市、香南市、高知市にある福祉事業所を対象に、シシトウパック詰め作業体験会を開催し、事業所や関係機関の計15名が参加しました。体験会は、南国市農福連携研究会の活動として昨年度から取り組んでいます。

農業改良普及課は、体験会用のシシトウ選別基準表を作成し、当日は基準表を活用して選別体験をしていただきました。

参加者は、果実の長さや傷などを1個1個丁寧に確認し、基準表に合わせて選別をしました。どの事業所からも「選別は難しいが、できそうな作業」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、選別基準表の改善や、シシトウパック詰め作業委託実現に向けて取り組みます。

集落営農の裾野の拡大に向けて ～集落協定からのステップアップを提案～



集落協定代表者説明会

6月5～9日、南国市及び香美市で中山間地域等直接支払制度説明会が開催され、南国市では12地区の代表者、香美市では多面的機能支払組織代表者も含め18地区の代表者の計83名が参加しました。

農業改良普及課は、集落営農の取組と農作業安全を啓発しました。参加者からは「後継者がいない」「耕作放棄地が増えている」等の声がありましたが「集落営農の学習会や先進地視察に行きたい」「労災の保険等の情報が欲しい」といった意見も出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、集落営農に取り組む地域の事例を紹介するなど、集落営農に向けた地域での話し合いを支援します。

猛暑を乗り切ろう！ ～洋菜部会栽培講習会～



講習会の様子

6月2日、JA高知県香美地区園芸部洋菜部会が栽培講習会を開催し、生産者30名が参加しました。

農業改良普及課は、青ネギにおける夏期の高温対策に加え、収穫前の積極的なかん水を呼びかけました。また、夏秋期の病害虫防除やSAWACHIニュースを活用した、シロイチモジヨトウやべと病の適期防除を提案しました。

生産者からは、夏期の収穫前のかん水量などについて質問がありました。また、多くの生産者に活用してもらえるようにSAWACHIニュースをJAに貼りだすことになりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、青ネギの生産安定に向けて支援します。